

提案 2

令和 5 年度事業計画

(1)会議の開催

- ア 必要に応じて、理事会および各委員会、関係機関等の会議等を開催する。
- イ ガバナンス・コンプライアンス・広報マーケティング研修を実施する。

(2)事業部

●国内大会委員会

(主) 伊藤 博之 (副) 山本 道雄

委員 富岡 成一 藤岡 明美 宮林 浩 白石 三重子

・大会の開催

ア 2024 年全日本卓球選手権大会(一般の部)第 1 回予選会(肢体の部)

日 程 令和 5 年 6 月 3 日(土)

場 所 パラアリーナ(東京都)

イ (仮名)第 2 回ダブルス卓球交流大会(予定)

日 程 令和 5 年 9 月 23 日(祝・土)

場 所 パラアリーナ(東京都)

ウ 第 15 回全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)

日 程 令和 5 年 11 月 25 日(土)～11 月 26 日(日)

場 所 東洋大学赤羽台キャンパス HELSPO HUB-3 アリーナ(東京都)

エ 第 44 回ジャパンオープン・パラ卓球選手権大会

日 程 令和 6 年 3 月 16 日(土)～17 日(日)

場 所 神戸市立中央体育館 (兵庫県)

オ 組合せ

申込締め切り後に、確認作業・組合せを行う。

組合せ、タイムテーブルについては、開催 40 日前に HP 掲載に努める。

※自宅作業・パラサポでの作業を行う。

●普及委員会

(主) 白石 三重子 (副)藤岡 明美

委員 富岡 成一 山本 道雄 宮林 浩 伊藤 博之

・普及啓発活動の実施

- ・各県の障がい者(パラ)スポーツ協会、行政等関係団体と連携し、依頼があった事業については、積極的に協力を行う。
- ・普及イベントの開催については、初めてパラスポーツに触れる人たちが、よりライトに取り組めるようパラ卓球の医科学サポートチームや強化部も合流し、スポーツの体験などを

日本代表・元日本代表が丁寧にサポートを行う。

・J-STAR 事業、全国障害者スポーツ大会等の協力

ア パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in CHITOSE

日 程 令和5年8月12日(土)

場 所 千歳市スポーツセンター(北海道)

イ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in TOTTORI

日 程 調整中

場 所 調整中

ウ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in KUMAMOTO

日 程 令和5年12月9日(土) 予定

場 所 調整中

エ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in HIRADO

日 程 調整中

場 所 調整中

※体験会・講習会を実施。

●**広報・マーケティング委員会**

(主) 龍 信之助 (副) 坂井 一也

委員 立石イオタ良二

●**渉外活動の推進**

広報担当 新藤 遼介 丸山 裕理

※ 別紙参照 報告・提案資料 2

●**ガバナンス担当**

石堂典秀 高松政裕 宮林浩

・ガバナンスコードに沿った規程等を整備、協会運営の安定、基盤づくりを進める。

(3)強化部

●**強化委員会**

(主) 宮崎 義仁 (副)坂井 一也

委員 鹿島 沙奈絵 羽生 綾子 森園 美咲 山本 恒安 森田 匡則

ア **強化委員会の体制**

ハイパフォーマンスディレクター(強化責任者) 宮崎 義仁

ナショナルチームヘッドコーチ 羽生 綾子

ナショナルチームコーチ(立位監督) 森園 美咲

ナショナルチームコーチ(車いす監督) 山本 恒安

情報・科学スタッフ 森田 匡則

強化担当 鹿島 沙奈絵

チームドクター	大野 洋平
パラスポーツトレーナー	池田 竜士
心理サポート(JPC 心理スタッフ)	河津 慶太
ナショナルパーソナルコーチ	新井 卓将 伊藤 誠 時吉 佑一
	村上 祥 木原 博生

※その他スタッフの追加の可能性あり。

今後継続的に検討を進めていく。

イ 強化合宿の開催・国際大会派遣

※ 別紙参照 提案資料 2

●選考委員会

(主) 石堂 典秀 (副) 大野 洋平

委員 富岡 成一 藤岡 明美 羽生 綾子

- ・海外派遣選手およびスタッフ等の選考基準の立案
- ・パラリンピックや世界選手権等の大会を見据え、強化方針や国内競争力等の情報を参考にしながら立案する。
- ・令和 6 年度監督・コーチスタッフ選考および選手選考等の会議を実施

●医科学・クラス分け・アンチドーピング委員会

(主) 大野 洋平 (副) 小黒 修

委員 龍 信之助 大木 麻美 木ノ瀬 翔太 木勢 峰之
池田 竜士 山田 哲也 平賀 聡哉

ア 一般会員対象の事業

- ・国内クラス分け:継続して行う。スタッフのクラス分けについての教育活動を行う(国際クラス分けセミナーへの参加支援を含む)。
- ・トレーニング指導:障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導を行う。

イ 海外派遣選手およびスタッフ対象の事業

- ・健康管理:メディカルチェック、個別指導、合宿などでの講義、必要に応じ専門科への受診などを促す。
- ・トレーニング指導 : 障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導を行う。
- ・アンチドーピング : 講義などの教育活動、個別相談、TUE 申請、RTPA 対象選手のサポートなどを行う。
- ・国際クラス分け : 強化スタッフへ選手の障害特性やクラス分けについて講義・解説を行う。海外派遣選手およびスタッフへ国際クラス分け対象選手のサポート(診断書作成、クラス分けの陪席など)を行う。

ウ 学会発表支援・資格取得支援

- ・他競技からパラスポーツにおける医科学に関する知識を吸収し、肢体不自由卓球につい

ての学術的知見を報告するため、日本障がい者スポーツ学会等に参加し可能な限り発表を行う。

・パラスポーツトレーナー、パラスポーツコーチ、国際クラシファイアなどの資格取得の支援を行う。

(4) コンプライアンス委員会

(主) 高松 政裕 (副) 中川 義宏

委員 白石 三重子 石堂 典秀 神尾 洋

(5) アスリート委員会(令和4年度より設置)

(主) 調整中

委員 調整中

(他)

課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム事業は計画の実施

地方自治体との連携を新設し、日本全国に複数の育成・強化拠点を整備することで、今まで競技を始めることができなかったタレントや、卓球競技を始めた選手達への定期的な指導を行ない、競技人口を増やすと同時に、選手間の競争力を向上させ、将来パラリンピックを目指す選手を育成する一環指導体制の整備を行う。